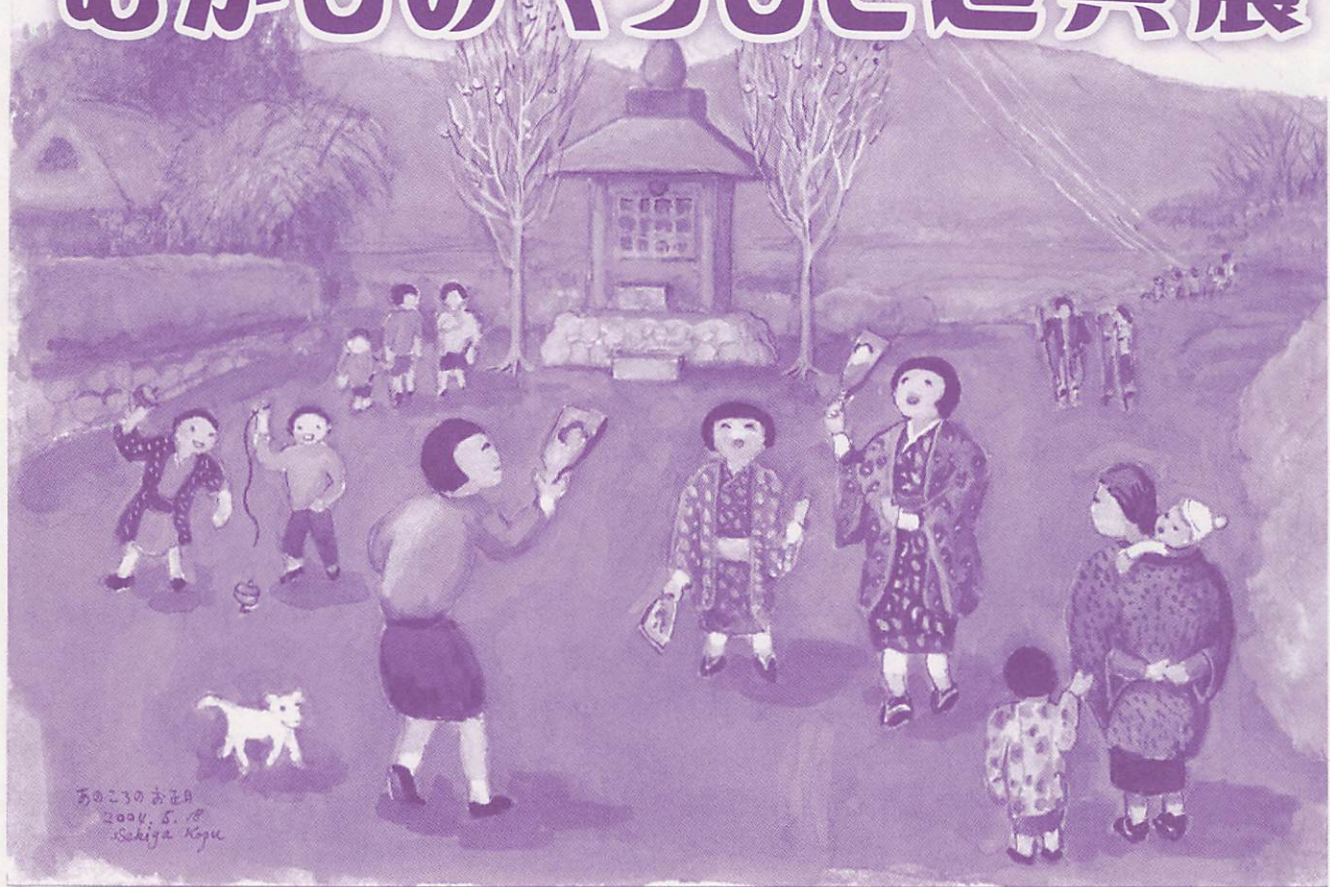


帰ってきた!「むかしのくらしと道具展」.....2p

茶書通鑑 No.213/茶席体験「雛まつり茶会」.....3p

/// 帰ってきた! ///

むかしのくらしと道具展



2022.

1.6 (木) ~ 2.16 (水)

【開館時間】 9 : 00 ~ 17 : 00 (入館は16 : 30まで)

【休館日】 1月11日(火)、17日(月)、24日(月)、
25日(火)、31日(月)、2月7日(月)、14日(月)

【観覧料】 無料

【主催】 入間市博物館

【協力】 関谷 和
入間市博物館ボランティア会

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できなかった「むかしのくらしと道具展」。今年こそ、むかしのまちの姿、くらしの道具、人々の知恵や工夫、生活のあり方をたくさんたくさんみなさんに見ていただけたよう、準備してお待ちしています！

アリットがある二本木地区が「元狭山村」だったところに少年時代を過ごした関谷和さんが描いた昭和前半のくらしの情景「思い出画」のほか、絵の中に登場したむかしの道具なども併せて展示します。

入間市博物館ホームページ <https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>

帰ってきた!

会期:2022年1月6日(木)~2月16日(水)
時間:9:00~17:00

むかしのくらしと道具展



石臼で米などを粉にする、穀物を「唐箕(とうみ)」で選別する、などむかしの道具の実演コーナーも

市制施行20年時のタイムカプセル(1986年)の中に入っていたものもご紹介



I むかしのくらしへ、タイムトリップ

入間の特色を出しながら、くらしの変化のイメージをつかむ導入部。大正・昭和・平成の土地利用図や写真などの展示、昭和40年頃を想定した部屋を情景再現展示します。



II なるへそ道具箱

昭和初期・中期・後期・平成時代の子どもたちの学用品や生活用品を展示するほか、昭和61年~平成28年まで地中に眠っていた入間市のタイムカプセルに収納していた品々を展示します。



III 「思い出のなかのおらーほー」特集展示

昭和前期のくらしの情景「思い出画」のほか、絵の中に登場するむかしの道具を一緒に展示します。館内では関谷和さんがむかしのくらしを語る映像もご覧いただけます。思い出画を収録した本の詳細は下欄の記事をご覧ください。



※たいけんコーナーはありません。

優しくほのぼのとしたイラストで「むかしのくらし」も学べる「読む絵本」



読む絵本「思い出のなかのおらーほー
—昭和前期の元狭山村のくらし—」
◆体裁 A4判・128ページ・オールカラー
◆価格 1,000円
◆販売場所 ミュージアムショップ宇茶戯
入間市役所3階市政情報コーナー

「思い出の中のおらーほー」好評販売中!

アリットでは、昭和前期の二本木地区(旧元狭山村)でのくらしのさまざまな場面を、当時を思い出して描いた「思い出画」約150点を、解説文やむかしの生活用品の写真とともに掲載した楽しい冊子を制作しました。

イラストと文章は、同地区で昭和8(1933)年に生まれ、少年時代を過ごした関谷和さんによるもの。これまでに毎年開催してきた「むかしのくらしと道具展」のために制作していただいた作品を中心に収録しています。眺めるだけでも楽しく、「むかしのくらし」のテキストとしても活用できる1冊です。

囲炉裏



駄菓子

ちゃしよつがん

茶書通鑑は“お茶の博物館ALIT”が発信するお茶に関する本の書評・紹介コーナーです。

日本茶のルーツを探る 幻のヤマチャ紀行

◆松下 智著・淡交社・1999.10.01刊・239ページ・1,800円(税別)

本書は昭和5(1930)年生まれ of 著者が、「日本の茶が中国産だけか、日本原産もあるのか」を解明する為、日本原産と言われるヤマチャの現地調査を、昭和28(1953)年から46年間仕事の合間に日本各地を巡り調査し記録をまとめたものである。

「茶の木が、日本原産か否かについては、今もって解決されていない」という書き出しに驚いた。なぜなら歴史の授業で「唐に渡った留学僧が、日本に初めて茶を伝えた。鎌倉時代に栄西が、宋から茶を持ち帰って栽培し『喫茶養生記』を著した」と習い、茶は中国から伝来し日本に広まったものと認識していたからである。

著者は『熊本茶業史』を引用して、「本県は往古から到る処にヤマチャが叢生し…自生茶の存在せる事を発見せしは、今より六百余年あまり前の事なり」と、ヤマチャが日本原産であるとの説を紹介している(注)。「山岳地帯では、焼き畑農業をする為山焼きをする。山焼きにより、杉林や雑木林の下生えとして自生していたヤマチャが、地上部を焼き払われても真っ先に芽を出す。そして、成長して2~3年で茶畑に

なる」「山奥の人が住んだ事もないような所にヤマチャが自生している」等が根拠のようだ。

調査地は、焼き畑を行う山岳地帯に広く分布している。昭和50年代くらいまでは交通の便も悪く、途中までは電車・バス、最後は徒歩でと苦勞をして現地に入った。「古老の話を聞く、現場を訪れる、製茶を見学する、写真に記録する、古文書や各市町村の市史・町史を読み込む」等膨大な時間と勞力を費やして出来たのが本書である。

焼き畑やヤマチャの事だけでなく、山の暮らしや文化・芸能・歴史、道路事情の変遷、過疎化等についても記載されていて、風土記としても読むことが出来る一冊である。

評者・塩澤 明(博物館ボランティア会)

(注)チャノキ(Camellia sinensis(L.)Kuntze)の起源については諸説あり、今回取り上げた書籍では「日本茶自生説」を唱えています。

当館の常設展示ではチャノキの起源は中国単独という考えで構成していますが、「茶の博物館」アリットとして、様々な考えがあることもお伝えしたいと思います。

茶席体験 雛まつり茶会

誰でも気軽に参加できる茶会です。お茶の作法も優しく説明します。初めての方もぜひどうぞ

【日時】 2022年2月26日(土) 10:15~15:00

【会場】 本館回廊

【定員】 当日 先着100名

【参加費】 400円(菓子つき)※中学生以下無料

【協力】 入間市茶道連盟



ALIT 行事予定カレンダー

1月から
3月まで

January (1月)

- 6日(木)～23日(日) 常設展特集展示「常設展の福袋」
- 6日(木)～2月16日(水) むかしのくらしと道具展
- 9日(日) 新年のお福茶振る舞い
- 18日(火) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「リトミック教室」
いるまミュージアムパートナーズ自主事業「アロタイ教室」
- 23日(日) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「デッサン教室」
- 30日(日) 日光さる軍団大道芸

February (2月)

- 6日(日) 日本各地のお茶体験「日本茶インストラクターによるお茶遊び」
- 13日(日) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「デッサン教室」
- 15日(火) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「リトミック教室」
いるまミュージアムパートナーズ自主事業「アロタイ教室」
- 26日(土) 雛まつり茶会
文化財防火訓練(場所:氷川神社)(東金子地区)
- 23日(水)～27日(日) 第36回入間市書道展(問合せ:中央公民館)
- 23日(水)～3月21日(月) アリットの雛まつり

March (3月)

- 5日(土)～6日(日) ♡旧黒須銀行春の特別公開
- 5日(土)～13日(日) ♡旧石川組製糸西洋館春の特別公開
- 6日(日) 世界各地のお茶体験
「日本紅茶協会ティーインストラクターによるデモンストレーション」
- 8日(火)～13日(日) 四季彩会写真展【一般貸出】
第5回宮寺写真クラブ【一般貸出】
- 12日(土)～13日(日) ♡旧黒須銀行春の特別公開
- 15日(火) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「リトミック教室」
いるまミュージアムパートナーズ自主事業「アロタイ教室」
- 20日(日) いるまミュージアムパートナーズ自主事業「デッサン教室」
- 19日(土)～21日(月) ♡旧石川組製糸西洋館公開
- 25日(金) ♡西武鉄道ウォーキング&ハイキング連携事業
旧石川組製糸西洋館・旧黒須銀行特別公開

♡印は、
西洋館・旧黒須銀行
で開催する
イベントです

※催し物の日程は変更となる場合があります。ご来館の前にご確認下さい。

博物館以外の問合せ先 中央公民館 04-2964-2413

入間市博物館

〒358-0015 埼玉県入間市二本木100番地
<https://www.alit.city.iruma.saitama.jp/>
<https://www.facebook.com/irumacitymuseum/>
<https://twitter.com/irumacitymuseum/>

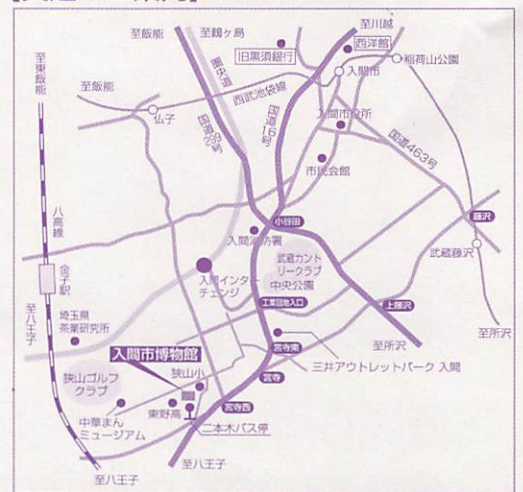


TEL 04-2934-7711

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】月曜日(その日が休日または振替休日の場合はその翌日)
 休日の翌日(その日が土・日曜日または休日の場合は除く)
 第4火曜日(館内整理日。ただし、その日が休日の場合は開館)
 12月27日～1月5日(年末年始)

【交通のご案内】



- ◆ 圏央道 入間インターより車で5分
 - ◆ 西武池袋線 入間市駅よりバスで20分
- 「入間市駅」発→入間市博物館方面行き
バス運行時刻表 (入間市駅2番バス乗り場にて乗車)
 2021年3月13日改正

時	平日	土曜日・日曜日・祝日
8	蔵05 工博20 工博27 博40	博01 博26 博42
9	蔵00 蔵11 博20 蔵59	準箱00 準博30 準博58
10	蔵18 蔵28	準博16 準博48
11	博21 蔵39 博51	準博39
12	蔵08 蔵36 博47	準蔵28 準蔵58
13	蔵15 博28 博51	準博36
14	蔵09 博58	準博16 準博58
15	博27 博55	準箱58
16	箱08 博37 博49 博59	準博50
17	博39 博55	準博38

「入間市博物館」(終点)下車
 博→「入間市博物館」行き
 工→「武蔵工業団地」經由「入間市博物館」行き

「二本木」下車
 箱→「箱根ヶ崎駅」行き
 蔵→「二本木地蔵前」行き
 準→「人事院研修所・船久保工場前」通過

※道路混雑の為、予定時刻通りに運行できないことがありますので、ご了承ください。

(問合せ) 西武バス飯能営業所 042-972-4123

大型商業施設周辺の交通渋滞にご注意を！
 博物館近くの国道16号沿い大型商業施設のために、近隣で交通渋滞が発生しています。バス、自家用車ご利用の方ともお時間に余裕を持ってお出かけ下さい。



NEWS-ALIT 2022年1月1日発行 第102号 入間市博物館 ALIT 次号のお知らせ ニュースアリット 第103号は、2022年4月1日発行の予定です。